

平成30年度行政事業レビューシート ( 復興庁 )

<b>事業名</b>	社会福祉施設等施設整備			<b>担当部局庁</b>	復興庁	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成25年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成32年度	<b>担当課室</b>	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 山口 浩孝			
<b>会計区分</b>	東日本大震災復興特別会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)				<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>主要政策・施策</b>	障害者施策			<b>主要経費</b>	公共事業				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災を受け、被災した障害者施設等の復旧事業について、実地調査を行い被害額を確定した上で、その復旧に要する経費の一部を助成することにより、災害の速やかな復旧を図り、もって施設入所者等の福祉を確保することを目的とする。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	東日本大震災により被災した障害者施設等を復旧しようとする場合、復旧に要する費用の3分の2を補助する。(通常の2分の1から嵩上げ)								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求		
		補正予算	630	1,351	487	43	642		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	1,304	480	608	237	-		
		予備費等	▲ 480	▲ 608	▲ 237	-	-		
		計	-	-	112	-	-		
	執行額	1,454	1,223	970	280	642			
	執行率 (%)	1,304	1,223	970					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	90%	100%	100%					
		207%	91%	199%					
<b>平成30・31年度予算内訳</b> (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由					
	社会福祉施設等災害復旧費補助金	43	642	福島県の計画する事業額が前年度と比べて増額しているため。					
	計	43	642						
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 30年度	目標最終年度 32年度	
	当初の復旧予定施設数(314)から対象外又は自費復旧施設4施設を除いた全ての施設の復旧	復旧が完了した事業所数	成果実績	件	290	292	295	297	-
			目標値	件	314	314	311	310	310
			達成度	%	92	93	95	96	-
<b>根拠として用いた統計・データ名</b> (出典)	市町村からの復旧予定施設数の報告								
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標	単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込		
	本事業による支援件数(当初予算に対する交付決定数)	活動実績	件	1	1	3	-	-	
		当初見込み	件	1	2	4	2	1	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込			
	平成29年度社会福祉施設等災害復旧費補助金交付決定額(X)÷平成29年度整備件数(Y)	単位当たりコスト	百万円	480	743	247	90		
	特別財政援助額(128百万円)を除く	計算式	X/Y	480/1	743/1	989/4	90/1		
<b>政策</b>	福祉・介護人材の養成確保を推進すること等により、福祉サービスの基盤整備を図ること								
	<b>施策</b>	福祉・介護人材の養成確保を推進すること等により、福祉サービスの質の向上を図ること(施策目標Ⅷ-2-1)							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標年度		
			-	-					-	-	-	-
			実績値	-					-	-	-	-
	東日本大震災を受け、被災した障害者施設等の復旧事業について、実地調査を行い被害額を確定した上で、その復旧に要する経費の一部を助成することにより、災害の速やかな復旧を図り、もって施設入所者等の福祉を確保することを見込んでいる。											
	改革項目	分野:	-	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		成果実績	-	-							-	-
目標値		-	-	-							-	-
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
	成果実績	-	-							-	-	-
	目標値	-	-							-	-	-
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	東日本大震災により被災した施設原形復旧にかかる経費の補助は、施設管理者の財政負担や公共の福祉に影響を与えることから国民のニーズの高い事業である。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	地方自治体や社会福祉法人等が設置した施設が被災した場合に補助を行うものであり、国が支援する必要がある。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	被災した障害者施設等の事業再開に必要な費用を補助するものであるため、優先度の高い事業である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	協議書の提出のあった被災施設に対する実地調査を行うことにより、支出先を決定しており、妥当である。
競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付要綱等により補助対象や補助率を規定し、施設の設置者にも負担を求めており、妥当である。
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	被害状況により異なるため、単位当たりのコストの水準については一概に判断することはできない。
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	老朽化や、管理怠慢等の災害箇所以外の整備は査定により対象外とし、災害復旧に必要な整備に限定しており、真に必要
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	年度内に計画できなかった案件について十分に精査を行い来年度の執行を予定しているもの。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	概ね当初の目標を達成した。
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	災害復旧に要する経費の補助であり、被災地にとって有効な手段となっている。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	年度内に計画できなかった案件があったため、当初の見込みを下回ることとなった。
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	震災以前に使用されていた施設の復旧にかかる経費であるため、整備された施設は十分に活用されている。
関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	本事業は建物本体の復旧に要する費用を補助するものであり、左記事業は設備の復旧に要する費用を補助するものである。
所管府省名	事業番号	事業名
厚生労働省	0072	社会福祉施設等設備災害復旧費等補助金

点検・改善結果	点検結果	東日本大震災で被災した障害者施設等の復旧については、昨年交付したことにより残り16件であり、着実に復旧が進んでいる。しかし、復興計画の遅れなどにより復旧できなかった施設も残されており、これらの施設に対する補助を適切に行うことが課題として挙げられる。また、単位当たりのコストについて年々増加傾向にある。
	改善の方向性	残りの復旧予定施設の速やかな復旧を図り、以て施設利用者の福祉を確保するために、本事業の適正な実施に努める。また、復旧コストの増加については復旧が進むにつれ全面建て替えなどの大規模な案件が中心となることが理由の一つとして挙げられるが、今後被災施設から報告があった被害額を元に実地調査を行い、適正な執行に努める。

**外部有識者の所見**

平成32年度の事業終了に向け、引き続き、事業の適切な進捗管理及び効率的な予算執行につとめること。

**行政事業レビュー推進チームの所見**

現状通り

社会福祉施設等を災害復旧することは必要性の高い事業である。引き続き効率性に留意し、予算の執行を進めること。

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

現状通り

引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。

**備考**

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	47-2	平成25年度	070
平成26年度	094	平成27年度	0094	平成28年度	0089		
平成29年度	復興庁 ( 0072 )						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

社会福祉施設等災害復旧費補助金

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)



